

No. 16-9

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 16 - 9

<b>事業分類</b>		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		<b>公的関与</b>		6		<b>作成日</b>		26年 6月 12日		
<b>事務事業名</b>		少人数教育推進事業						<b>シート作成部署</b>				
<b>総合計画上の位置付け</b>	<b>基本施策</b>	3 心豊かなまち						<b>課名</b>	学校教育課		<b>係名</b>	
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる							<b>シート作成者</b>			
	<b>施策</b>	3-1-1 幼児教育・学校教育の充実						<b>予算費目</b>	<b>会計</b>		一般	
									<b>款</b>		10	
<b>主要施策</b>	③ 学校教育環境の条件整備						<b>項</b>		2			
							<b>目</b>		2			
<b>個別計画名</b>												
<b>住民との関わり</b>												
<b>事業の対象・目的・内容</b>	<b>対象（誰を、何を）</b>				<b>目的（どういう状態にしたいのか）</b>							
	小中学校の児童・生徒				確かな学力を身につける。							
	<b>事業内容（どのような方法で、何を行うのか）</b>											
小中学校に非常勤講師を配置し、基本的には30名以上の学級において、国語、算数、数学、英語等の教科で少人数指導（授業）を実施する。状況に応じて、TT（チームティーチング）または少人数指導の形態にする。												
<b>事業期間</b>		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
<b>根拠法令・要綱等</b>												
		<b>平成24年度（決算）</b>			<b>平成25年度（決算）</b>			<b>平成26年度（予算）</b>				
<b>全体事業費（千円）A+B</b>		14,586			10,679			14,784				
<b>財源内訳</b>	<b>国庫支出金</b>		0			0			0			
	<b>県支出金</b>		0			0			0			
	<b>地方債</b>		0			0			0			
	<b>その他特定財源</b>		0			0			0			
	<b>一般財源</b>		14,454			10,547			14,652			
<b>直接事業費（千円）A</b>		14,454			10,547			14,652				
<b>人件費（千円）B</b>		132			132			132				
<b>内訳</b>	<b>一般職員（人・千円）</b>		0.02 人 132		0.02 人 132		0.02 人 132					
	<b>臨時職員（人・千円）</b>		人 0		人 0		人 0					
<b>成果指標</b>	<b>成果指標名</b>				<b>単位</b>	<b>25年度</b>		<b>26年度</b>	<b>27年度</b>			
						<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>（目標）</b>	<b>（目標）</b>			
	①											
	②											
③												
<b>説明</b>	個々の学校や学級が様々であることや、その成果が直ちに現れるものではないため成果指標の設定は困難である。ただ、学力調査の結果により一定の傾向等は把握ができるものと考えています。											

事業名	少人数教育推進事業	シート作成課	学校教育課
-----	-----------	--------	-------

一次評価者	学校教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長
-------	--------	-------	-----------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
	必要性	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	子どもたちがつまづきやすい内容や基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るには、少人数指導やチームティーチング等、きめ細かい個に応じた指導が必要不可欠です。	
	有効性	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	児童生徒一人ひとりに教師の目が届きやすくなり、子どもたちのつまづきや個々の課題把握、指導につながります。	
	達成度	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	個々への指導が充実しますので、児童生徒の学習意欲も高まり、学力向上につながります。	
効率性	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	費用対効果という点では効果を図ることが困難ですが、多人数クラスを一人で指導することに比べて、明らかにきめ細かく児童・生徒を把握し、指導支援することができます。		

本事務事業の実施適切性の説明

東員町の課題は、過密単学級が多いことです。国や県から加配教員が配置されますが、十分ではなく、全ての学校の状況に対応できていないのが現状です。そのため県内各市町では市町費負担で講師を配置しています。本町においても国や県の加配を補う形で非常勤講師を配置いただいています。少人数指導等を可能にする講師の配置は、児童生徒の確かな学力を保障する上で極めて重要な施策です。

一次評価	評価	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 B A	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続 ○	
	今後の改革・改善目標	過密単学級という状況や、学校の児童生徒数や学級の状況に応じて講師を配置することが必要です。今後、国の学級編制基準の見直しや教員の増員が行われる可能性はありますが、早急な改善は期待できず、町として先手を打っていくことが重要と考えます。					

二次評価	評価	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 B A	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続 ○	
	コメント	たいへん重要な教育施策であると考えます。					

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--